

江戸時代まで

➡ ハンセン病は、およそ1400年も前から日本にあった病気です。

➡ むかしの人たちはハンセン病になる原因を、神様を信じなかったせいだとか、人の不幸を引き受ける役目だからとか、親から子へと受け継がれる病気だから、などと考えていました。

➡ 今は、こうした考えは間違いだとわかっています。でもむかしの人たちはみんなそのように信じていたので、患者さんを嫌って近寄らないようにしていました。

➡ だから、患者さんだけを集める場所（療養所）をつくって無理やり住まわせること（強制隔離）になっても、みんな「それが当たり前」と思いこんで、「それはひどい」とは考えませんでした。

➡ 長い間続いてきたハンセン病を嫌う気持ちは、近代以後も人びとの心に残ってしまいました。